

君よ、散財に
ためらうなかれ。
君の十銭で
浅草が建つ。



1923年、
関東大震災後の浅草には、
そんな看板が立てられたという。
それから驚くべき速さをもって
東京は世界規模の大都市となった。
動いて、稼いで、そしてつかう。
そんな十銭たちが経済を回し、
東京は復興していったのだ。
あの時の看板は、今でも正しい。
土地も資源もない国は、
お金で生きていこうじゃないか。
日本人よ、散財にためらうなかれ。

君のお金で
国が建つ。